

# 営農ウィークリーNEWS

## 第3弾も大好評!! みのり姫のふれあいマルシェを開催★

9月10日(木)当JA神足支店にて第3回目となる『みのり姫のふれあいマルシェ』を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、マスクの着用、手指消毒、検温のご協力をお願いしての実施となりました。開催当日は京都茄子、京おくら、とうがらしなどの夏野菜や、果樹ではシャインマスカット、すだちなど計20品目を超える新鮮な農産物と25品目のA-COOP商品、あわせて約700点を販売しました。途中急な大雨にみまわれるなど不安定な天候となりましたが、当日は140名以上のお客様にお越しいただきました。



店内のようす



お会計の列



公式LINE

開催情報はLINEでもご案内していますので  
お友達登録、どうぞよろしくお願ひします🌸

### —TAC information—

秋冬野菜の定植前には  
ジュリボフロアフルが、おすすめ!



ジュリボフロアフル(クロラントラニフロール・チアメトキサム水和剤)

特徴

1. 定植前のセルトレイ・ペーパーポット苗への灌注処理で、定植後約1カ月間高い防除効果が持続。
2. コナガヤトウムシ、ネギアザミウマ、アブラムシ類、タネバエまで効く幅広い殺虫活性。
3. 移行性に優れ、根から吸収された有効成分が、作物全体にいきわたります。

※ポイントは、展着剤は入れず、薬剤をセルトレイ全体に行きわたらせることです。また、灌注処理後の灌水は避けてください。有効成分の特徴を最大限に活かす方法がセルトレイ・ペーパーポットへの灌注処理です。灌注処理は農薬飛散による影響が少なく使用者にも安心です。農薬の使用前には、ラベル等で登録内容の確認を必ず行って下さい!

# トビイロウンカについての 警報が発令されました!!!

2 農産第 7 3 1 号

令和 2 年 9 月 1 0 日

関係各位

京都府農林水産部長  
(公 印 省 略)

病害虫発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。



## 病害虫発生予察警報第 1 号

作物名 水稻（晩生：ヒノヒカリ）  
病害虫名 トビイロウンカ

- 1 発生地域 南丹地域及び山城地域
- 2 加害時期 収穫期まで
- 3 発生量 平年比多い
- 4 警報発令の根拠

- (1) 9月上旬に実施した緊急調査では、トビイロウンカの成幼虫（写真1、2）を、府内44ほ場中39ほ場（山城：20、南丹10、中丹4、丹後5、（発生ほ場率：88.6%、山城及び南丹は100%））で確認した（表）（+）。
- (2) 特に山城地域では、中発生以上のほ場を複数確認している。また、坪枯れ被害（写真3）も確認している（+）。
- (3) 注意報（令和2年8月26日発表第3号）発出後も本虫の発生量は増加し、8月中旬～9月上旬の約2週間で、発生圃場率は約3倍、10株当たり成幼虫数は84倍（短翅成虫：20倍、幼虫数：174倍）と、急激に増加している（+）。
- (4) 8月末から9月上旬にかけて、山城地域及び南丹地域の複数の水田での坪枯れ被害が確認されている（+）。
- (5) 向こう1か月の平均気温は高いと予想されている（+）。

### 5 防除上の留意事項

- (1) 防除の目安は株当たり成幼虫が5頭以上です。
- (2) トビイロウンカは成虫・幼虫とも株元に多く生息します。発生状況は、ほ場の中に入って、株元をかき分けて確認してください。
- (3) 粒剤の田面施用では、散布前に田に入水して施用し、入水後数日間は湛水状態を保つようにしてください。粉剤・液剤で防除を行なう場合には、株元に薬剤が十分届くように散布する事が重要です。なお、防除の際には、ほ場外に農薬が飛散しないよう十分に注意してください。
- (4) 農薬の使用にあたっては使用基準を遵守してください。収穫期が近いので、特に収穫前使用日数や使用回数に注意が必要です。

### 6 その他

- (1) トビイロウンカの警報は、昭和62年以来33年ぶりの発表  
(参考) 昭和62年の山城地区発生状況は次のとおり  
8月第4半旬 確認ほ場率：72.7%、虫数：37.3頭  
9月第4半旬 確認ほ場率：81.8%、虫数：66.1頭
- (2) 収穫時期が迫り、薬剤防除ができないほ場で坪枯れ被害を生じた場合は、できる限り早く収穫してください。